

公表:令和3年 3月 25 日

事業所名 ヨシア(チェリー Blossam)

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数に応じて、構造化を行い、十分なスペースを確保しています。また感染予防に配慮して適切なスペースを作っています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			配置数は、法律に定めた配置基準に従って、適切に配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			活動スペースの段差は無いです。階段手すりが整備されています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日の打ち合わせで、その日の目標設定をして活動を行い、振り返りをし、療育に活かしています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査で、保護者の困り感、要望を理解し、クラスで話し合い、子どもへの療育に繋げています。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			この自己評価はホームページで公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による外部評価は行われていません。それを受けて、療育の改善、工夫に勤めています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			人材育成に努めています。毎月行われる朝研修、新人研修、リーダー研修など積極的に参加、開催しています。	

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを適切に行い、子ども、保護者のニーズや課題を会議で話し合い、デイサービス計画を作成しています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの適応行動を図るため、CSPのアセスメントツールを使用しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			クラス会議やグループスーパービジョン等で、活動プログラムの立案を行っています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			発表会や運動会等の各行事を行なっています。日々の活動も制作やスポーツ活動など工夫して行なっています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は宿題等の学習課題に取り組み、本人が挑戦できるように個別的な支援も含め、活動を計画しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動、集団活動を組み合わせて、子どもの成長に繋がるようなデイサービスの計画を作成しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に、その日の支援内容、役割分担を必ず打ち合わせ確認しています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に、必ず振り返りをし、その日の良かった事、難しかった事を共有し、練習を行っています。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を正確に記録し、支援の検証と改善に努めています。		

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、デイサービス計画の見直しの必要性を判断しています。		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインの総則に従った支援を子どもに合わせて行っています。		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの状況を、家族背景も含めて、児童発達支援管理責任者をはじめ、理解している担当者に参加しています。		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者に同意を得た上で、家庭の状況や本児の課題を共有し、連携しています。		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか						
関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○					
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか						
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				児童発達支援センター等の専門機関と連携し、多くの研修を受けて、助言を得ています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			図書館を利用する時等に交流する機会がありました。	コロナの感染予防のために積極的に交流はなかったですが、今後はコロナの感染状況を配慮しながら検討します。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しています。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者に定期的に連絡し、子どもの状況を共有し、共通理解を持っています。		

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者に対して、毎月のグループカウンセリング、または個別の支援で、ペアレント・トレーニング等を行っています。	
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			保護者との個別面談し、丁寧な説明を行うように努めています。	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育ての悩み等に対する相談を随時傾聴し、必要な助言、支援等を行うようにしています。	
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会の活動を支援し、保護者同士の連携が支援できるよう努めています。	
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			子どもや保護者からの苦情があった場合、苦情対応マニュアルに沿って、速やかに対応するよう努めています。	
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			クラス便り等で、活動概要や行事予定等を、子ども保護者に対して発信しています。	
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			鍵のかかる書庫に個人情報を保管しています。	
	③6	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			クラスで連携し、子どもや保護者との意思を疎通、情報伝達の為の配慮を行うようにしています。	
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		散歩の時などに地域の方に出会ったときに挨拶して交流するように努めています。	コロナの感染予防のために積極的に交流はなかったですが今後はコロナの感染状況を配慮しながら検討します。
③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定し玄関に提示して保護者や職員に周知しています。		

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月一回、水害、地震、火災の避難訓練を行っています。年に二回、地域の避難所(小学校)に実際に避難する訓練を行っています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待を防止するため、アンガーマネジメント研修に参加したり、毎週虐待防止の練習、話し合いを行っています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の診断書に基づく対応をしています。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人全体で、ヒヤリハットの事例を共有し、安全に配慮するように努めています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。